

製品安全データシート

改訂 2009年3月1日

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ディポッシュ
 会社名 : 千葉ファインケミカル株式会社
 住所 : 千葉県市原市五井中央西1-14-22
 電話番号 : 0436-21-6306

2. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	化学特性	官報公示 整理番号 (化審法)	化学物質 管理促進法 (政令番号)	含有量 (%)
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	RC6H4SO3Na	3-1906	第1種 24号	5.4

危険有害成分 : 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩

3. 危険有害性の要約

**最重要危険有害性
有害な影響** : 皮膚に触れた場合、皮膚が腐食されることがある。目に入った場合、
 粘膜や角膜が侵され、失明することがある。
環境への影響 : 水生生物に対する影響がある。
特定の危険有害性 : この製品はアルカリ性で、酸性物質と反応する。

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、ネクタイ、ベルトなどをゆるめ、毛布
 などで保温して安静にする。鼻をかませ、うがいをさせる。呼吸が停止、
 あるいは弱い場合には、状況に応じて人工呼吸を行う。嘔吐がある場
 合は、頭を横向きにして窒息に注意する。直ちに医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。多量の水または適温
 の水を流しながら洗浄する。必要に応じて石鹼などを用いて十分に洗い
 落とす。その場で痛みなどの症状がなくても、障害が遅れて現れること
 があるので、必ず医師の診察を受けること。
目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。洗浄の際、コンタクトレンズ
 を使用している場合は、できればコンタクトレンズをはずし、まぶたを開
 いて眼球のすみずみまで水が行き渡るようにする。障害が遅れて現れ
 ることがあるので、必ず医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ、多量の水を飲ませる。無理に吐かせない。手当が
 遅れると生命にかかわることがある。直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、二酸化炭素
特定の危険有害性	: この製品自体は、不燃性。
特定の消火方法	: 火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取り除く。容器を安全な場所に移動する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際には防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム長靴を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 有害なため流出した場合でも、呼吸保護器具などの保護具を着用する。容器の搬送等の作業にあたっては、身体に接触させないように注意する。風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 濃厚な排液が河川等に排出されて、環境への影響を与えることのないよう注意する。
除去方法	: 土のう、土砂等で流出防止を図り、漏えいした液を土砂等に吸着させて取り除く。付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

技術的対策	: 保護具を必ず着用する。火気は厳禁とする。蒸気の吸入を避ける。局所排気装置、換気装置を設置する。溶解または希釈する時は、必ず水の中にこの製品を徐々に加えること。
注意事項	: 腐食性がある。製品をこぼしたり、漏れ、飛散がないようにする。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
安全取扱い注意事項	: 容器の搬送等の作業にあたっては、身体に接触させないように注意する。作業中は飲食、喫煙をしない。取扱いは、換気のよい場所で行い、製品が飛散しないよう注意する。適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。取扱い後は、手、顔などを良く洗う。蒸気の吸入を避ける。長時間または反復の曝露を避ける。

保管:

保管条件	: 強酸化剤、酸性物質、有機化合物、食品や飼料から離しておく。容器は直射日光を避け、乾燥した換気のよい冷暗所に保管する。吸湿性が強いので使用後はできるだけ容器を密封する。
容器包装材料	: 消防法、船舶安全法、航空法などの法令に定めるところに従う。ポリエチレン、ステンレスなど。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 作業者が直接暴露されないように、局所排気装置などを設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用シャワーなどの設備を設ける。

許容濃度

成分	日本産業衛生学会 (2002年度版)	ACGIH (2002年度版)
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	設定されていない	設定されていない

保護具:

呼吸器用の保護具 : 防毒マスク、送気式マスク、呼吸用保護具などを着用する。
 手の保護具 : 保護手袋を着用する。
 眼の保護具 : 安全ゴーグル又は顔面シールドを着用する。
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、前掛け、長靴等。

適切な衛生対策 : 保護具を必ず着用する。作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 粉体
 色 : 緑色
 臭い : 特異臭
 pH : 約8.8 (0.5%溶液)
 溶解性 : 水に溶解する。
 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲:
 沸点 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱いの下では安定です。
 反応性 : 特になし。
 避けるべき条件 : 高温、直射日光下での長時間放置。
 危険有害な分解生成物 : 特になし。

11. 有害性情報

ドデシルベンゼンスルホン酸ソーダとして

急性毒性:

経口毒性	マウス	LD50	2000mg/kg
	ラット	LD50	1260mg/kg

局所効果:

皮膚刺激性	ラビット	500mg/24H ; 軽度
眼刺激性	ラビット	250 µg/24H ; 重度

12. 環境影響情報

漏洩・廃棄などの際は、環境に影響を与える危険性があるので、取扱いに注意する。

13. 廃棄上の注意

本製品を含む廃液及び洗浄排水は、直接河川等に流すことは避け、関係法規や条例に従って処理して下さい。本製品を含む廃棄物は、そのまま埋め立てたり、投棄してはなりません。

空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去し、適切な処理業者に委託してください。

中和法：処理する場合は、適切な保護具を必ず着用する。水を加えて希薄な水溶液とし、酸（希塩酸、希硫酸など）でpHを中性に調整し、多量の水で希釈して処理する。本品を水に溶解または中和する時、発熱を伴うので沸騰などに注意する。

14. 輸送上の注意

国際規制：該当しない

特定の安全対策及び条件：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

◆ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令
第1種指定化学物質

16. その他の情報

参考文献

- 1 毒劇物基準関係通知集 薬務広報社
 - 2 RTECS (1985~86)
 - 3 危険物・毒物取扱いマニュアル 海外技術資料研究所(1985)
 - 4 「12996の化学商品」化学工業日報(1996)
 - 5 化審法の既存化学物質安全性点検データ集(化学品検査協会)
 - 6 化学品安全管理データブック 化学工業日報(1996)
 - 7 労働安全衛生法 対象物質全データ 化学工業日報(2000)
 - 8 日本化学物質安全・情報センター
-

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。